

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール(かがやきユニット)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内に掲示し、目に触れるようにしており毎日の腰痛体操に取り入れたり月に1度の事業所経營業務改善会議にて職員で唱和している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1度の「美川の郷カフェ」を開催し地域の方にも参加頂き交流の場を設けている。ただこの4年間はコロナの影響で地域の方や園児達との交流の参加は出来ていない。少しずつ地域の方の参加を再開していきたい。	今後、地域との交流の機会などがまた持てるようになるといい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響でご家族様は書面のみで報告となったが、会議は日程の変更はあったものの開催することが出来、報告や話し合いを行ってきた。そこで出た意見はサービスの中に取り入れている。参加者からの意見をもとに行事を計画している。	資料内にもどの様な事があったかという事を書いてもらっており内容が分かりやすい。そこから出た意見を活かされていると思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に出席して頂き事業所の様子を伝えまた市町村担当者から情報を得る機会も多く意見交換の場ができ協力関係を築く事が出来ている。	運営推進会議を定期的に開催されており、意見交換や情報共有を行う事が出来ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何が身体拘束にあたるのかをまず理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。必要とされる場合には、会議の場を設け3要件を満たしているか、他の対応方法は無いかな等の検討を行い記録に残しご家族様の了解を得ている。(センサーマット使用時)		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回「虐待の芽チェックリスト」を活用し全職員に自己点検と周囲の状況を振り返る機会を設けている。何が虐待に該当するのか、身近な事(言葉遣い等)から職員全体で共有している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を立ち上げると共に3ヶ月毎に「虐待の芽チェックリスト」を行う事で意識付け、周囲の言葉かけ1つ1つが虐待に値していないかを意識付けている。その後全体会議にて報告・周知し会議録を回覧している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議の中で「虐待防止委員会」報告時に、具体例「こんな時どうする」について意見を述べ、未然に回避できる言葉かけや対応方法を共有している。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内での研修は行っていないが、本部主催の動画研修や外部の研修に出て学ぶ機会を設けその後の事業所内会議にて報告の場を設けている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約書、重要事項説明書に基づき説明を行っている。疑問点があればきちんと答えている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者・ご家族への毎年満足度調査実施しその結果を職員への周知を行っている。運営推進会議に地域の方やご家族・ご本人に参加して頂き、行事や活動の報告を行っている。今年度もコロナウイルスの影響もあり参加に至らず書面参加頂いた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回の運営推進会議開催時には、ご家族様の参加が難しい事が多い為、会議開催の議録とあわせて意見を頂く為に書面を送付し回答頂いている。その後はホームページへの掲載を行っている。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の面談や、会議等の場で意見や提案を聞く場を設けている。毎月、検討会議を行い、その都度対応している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	所長による職員1人1人と面談する機会を年4回持ち、職員の思いを聞く機会を持っている。勤務状況等は把握している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との面談を通じて、ゆったりと話ができる時間を設けている。また日頃から挨拶に加え、「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えるように意識している。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目標管理シートを作成し、それぞれが自分の目標を持って働いている。エルダー制度を導入し、新人が1人で悩まないような取り組みを行い、教育ガイドラインを活用し、職員育成を行っている。研修を受ける機会は確保されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全体の底上げを目指しておりますが、1人1人の進歩が見られるようになった結果として、ほとんどの職員が互いのユニット間を行き来できヘルプ体制を取れるようになった。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修に参加することで、同業者と交流する機会が持っていたがコロナウイルスの影響にてほとんどの研修が中止。同業者作成の動画研修などを通して学びの場を持っている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好きな事ややりたい事、興味のある事を聞き出し家事やレクリエーションを一緒に行うことで、役割や達成感を見出し生活を楽しんで頂ける支援を行っている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響で外出がほとんどできなかった分、ご家族・親戚・友人への年賀状や手紙等で近況報告している。また少人数での外出も少しずつ再開を始めた	外出の時に、利用者のふるさとや思い出の場所への外出をして対応されている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の会話の中から情報収集を行い希望や意向が引き出せるよう努め、職員間で共有できるよう申し送りに記録している。ご本人からの情報収集が難しい場合は、ご家族に生活歴や普段の様子を教えてください対応している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人を交えての話し合いの場はあるものの、ご家族と会話する機会が少ない。その為、計画変更時・更新時にはご家族へ意向確認・計画内容の説明を行っている。意向が反映される計画作成に努めている。	本人だけでなく、家族の意向も確認できるように、しっかり対応されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	長い期間、コロナで中止となっておりました「家族交流会」の復活を目指して出来る事から始めていきたい
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスで情報共有はできている。職員間の会話の中からそれをもとにし実践されたことや気づき・工夫を聞くこともあるが、今後ケアの実践や工夫や詳細な記録等の成功体験が共有できるように1歩ずつ前進していきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1回のカンファレンスや日々の記録を把握しご利用者の気づきや状態の変化を職員間で共有を行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響で外出等ほとんどできなかった。代わりに季節を感じて頂く企画や、施設内で対応できる事は可能な限り対応した。(パーベキュー・おせち料理・美味しい物が食べたい等)また、5 類に移行となつてからは居室での面会を再開しゆったりとした時間を過ごして頂いている。	食事や施設内での行事等利用者の方のリクエストを聞きながら対応されている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響で今までできていた地域行事への参加や、地域の方を招いた行事が行えなかった。今後再開に向けて準備を進めたい。	自然を活かし畑作り等出来る事をしてもらえるようにされている。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族と相談し、かかりつけ医を決めている。受診困難な方は、ご家族や医師と相談し往診という形で適切な医療を受けられる体制をとっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院された際には、連携室の担当者との入院期間や状態の確認を行い退院に向けたサマリーを基に食事形態や歩行状態等情報を共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院された際には連携室担当職員とお互いに必要な情報交換を行い、ご本人の状態・入院から退院に向けてのスケジュール確認を行っている。面会が可能な時は出来るだけ行っていた。入院前の状態に近づける様歩行状態や嚥下の訓練を依頼している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まずはご本人・ご家族の意向を聞き取っている。医療的なケアが必要になった場合の対応等の説明をしたり、主治医からの助言を家族に伝えたり、必要であれば他施設の情報提供や、申し込み等の話もしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の手続きの際に重度化や看取りについて説明を行い同意確認の書類を交わしている。また、主治医の指示のもと家族様と相談しながら事業所として対応を行っている
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度も新型コロナウイルスの影響で救急法の実践的な研修は中止となったが、全職員へ法人内動画研修として学びの場を設けた。急変時の対応は実践の中で身につけてきている。新人・新任職員対象に実践を交えた救命法は実施した。救急搬送や緊急受診時の手順書の見直しを行い職員周知を行った。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和3年8月大雨による浸水を防ぐため美川苑に避難を行った。本部との連携によりご利用者全員無事に避難し1夜を過ごした。以降毎年水害訓練を実施。実際にはまちづくりセンターへの非難は難しく(階段等)地域の方との協力体制は築けていないのが現状である。	美川ダムからの放水、雨期の水害等での避難の様子を話しました。自分で動けない人への対応など出来る限り良い方法で行われていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度BCPが完成し今後研修・訓練を通じて見直しや修正を行いどの勤務帯でも初動対応から、業務継続へ向けて日々訓練を重ねていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人を人として尊重し、個性やプライバシーを理解したうえで丁寧な言葉で声掛けや対応をさせて頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少人数の生活ではありますが、ご利用者1人1人の個性を尊重し集団で過ごす時間やお1人の時間も持ちながらその方の生活リズムを尊重している。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員本位の介助を行うのではなく、ご本人がどうしたいかを常に聞かせて頂き、それぞれの方の生活リズムを知り支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	得意な事や、やりたい事を活かして調理や片付け、お盆・皿洗いやお盆拭き等、役割を持ち力を発揮して頂いている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の楽しみは「食べる事」と言われる方がほとんどです。中には意見箱に「リクエスト」を書いて下さる方や、誕生日にはお好きなメニューを作ったり最近では外食も再開したところです。月に1度の郷カフェでは、季節を感じて頂ける様手作りお菓子をご利用者と職員が一緒になって頂きます。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分量の把握ができています。水分量が少ない方には希望されるものや好みの飲み物を提供、また体重の推移を見ながら栄養補助食品を使用したり、個々の希望する量や形態に合わせて支援している。体重増加傾向の為、栄養バランスを考慮し検討している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行っている。できる所はご自分でしていただき、必要時は介助させていただきます。希望される方には、週1回歯科往診あり、口腔内の状態や治療・口腔ケアのアドバイスあり、それに沿ったケアを行っている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時ほとんどのご家族が、歯科往診を希望され定期的に口腔ケアや必要に応じて治療を受けておられる。毎食後の口腔ケアと義歯の方は夜間、消毒の為お預かりし残渣物等が口腔内に残ったままにならない様就寝頂いている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限りご本人の希望される下着を使用している。排便コントロールをしている方や尿意・便意が曖昧な方の排泄記録を行い、トイレでの排泄を促すためトイレ間隔の把握に努め声掛けを行っている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、排泄状況を確認しご家族の意向を確認し必要に応じ排泄誘導を計画書にあげ、トイレでの排泄を促している。また、主治医の指示のもと必要な方は排便間隔を記録し排便コントロールを行っている。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回入浴ができるように曜日と時間帯はある程度設定をしているが、その日のご本人の体調や気分に合わせて入浴が行えるよう支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活スタイルに合わせて居室でテレビを観たり、居間のソファでゆっくりと休息がとれる配慮を行っている。環境作りとして居室の気温・湿度の管理に取り組んだ。不安などで眠れな			

				い時は職員が話を聞かせて頂き安心できるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族から薬の内容を聞かれた際にどの職員でもすぐにご説明できるよう、個人ファイルに薬の説明書を綴り共有している。何か変化があった時にはかかりつけ医や看護師へ報連相を行っている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内科・精神科共に処方されている薬に関して理解に努め受診時に医師に、服薬後の状態をお伝えしている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓑ. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や日常生活の中でできる事、やりたい事を楽しんでできるよう援助している。した事のない事でも興味を持たれたら一緒にしていただき役割を見出せる援助に取り組んでいる。	訪問した時に、趣味を見せてもらいました。人それぞれなので大変だなと思いますが、生きる喜びに繋がるので楽しみを作ってあげてください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓑ. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年も新型コロナウイルスの影響で人出のある場所には外出ができなかった。規制が緩和された時期をみて利用者から希望のあった紅葉見物や初詣へは感染症対策をとりながら企画を練り出かけられた。	利用者のリクエストに応じて外出を再開され実施している。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓑ. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分で現金を所持していない方がほとんどだが、自分で管理できる方は自分で財布を持っておられ、職員と買い物に行った際に、自分で好きなものを買われていた。コロナが5類に移行された事で外出の機会を設けたい。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響で外出や面会に制限があった分、手紙やはがきでのやり取りや、希望時に電話での近況報告をご本人からできるよう支援した。娘様からのハガキを心待ちにしておられる方も多い。ご家族様から電話の際には、ご本人に繋ぎ電話可能な限り対応を行った。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	快適に過ごせるよう室温・湿度・照明に気を付けている。季節に合わせた飾りつけをしたり、利用者が希望されたソファのレイアウトに変更し、外の風景も眺められるよう工夫した。トイレやテーブル上を適宜消毒し清潔を心掛けている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分の部屋を迷われる事もある為、その方に合った目印を工夫している。1年を通じて空調していることが多いが、時には網戸にして外気を感じて頂き衣類の調整を行っている。春には桜秋には紅葉と景色を楽しんで頂ける環境となっている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	直接伺うと、「あまり考えた事ないけど別に不満はない。」と言われる。その為、日頃の会話の中から引き出したり意見箱を設置し食べたい物や行きたい所など気軽に活用してもらえるよう工夫している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分から友人や家族様へ電話をされたり知り得た生活習慣の継続に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者からのコメントは特になく、うまく言葉に出来ない方もおられる為、日頃の活動や生活習慣から、安全面や環境面の配慮を行っている。ご自分で出来る事の継続を目指し支援を行っている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時には、職員によるバイタル測定を実施し記録に残しており状態の把握に努めている。いつもと違った様子が見られた際には、医療職に報告し指示を仰いでいる。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う方との同席配慮や、自席が分からない方へ目印や声掛け・誘導を行っている。固定ではなく、その日の気分で座る場所を変えても大丈夫なように配慮している。ソファで外を眺めたりできるスペースを設けている。			
44		生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族と相談しながら、自宅で使い慣れた家具を持参・使用して頂いている。家族の写真や好きな動物の写真なども飾らせて頂き心地よく過ごせる工夫をしている。また家族様にアルバムを持って来てもらいたいとリクエストもあった。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	長引くコロナ禍においてご利用者の意向に沿った外出は難しかったが、ホーム内行事において季節を感じて頂けるような行事を企画し参加頂いた。少しずつ誕生日企画で外食の再開も始めた。	ホーム内で季節を感じる行事を企画したり外食の再開も始められておられる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ない事にばかり注視せず、その方の現在の状態で出来る事を見つけ無理のない活動や役割を担って頂いている。また思いを言葉に出来ない方の思いを汲み取れるよう表情や声掛け等に工夫している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の中で過剰な支援は控えご自分で出来る事の喜びを感じて頂き、その方に出来る事を依頼し生活の場面に取り入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の入れ代わりが年に数回ありますが、また新たな出会いの中から関わりがスタートしており、気の合う方との会話や顔馴染みになっている。また今までの生活歴を基に様々な家事活動を行っている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出を制限される日々の為ホーム内以外の方との関わりを持つ機会は激減した。今後は交流の場の再開に向けて感染対策を取りながら少しずつ再開していきたい。	新型コロナが5類に変更されてからも中々、外出が難しく地域の人々と関わり交流する事が出来ない中、感染対策を足りながら散歩からでも再開してほしい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方との交流がこの4年間出来ていなかったが、介護相談員の定期訪問にて話を聞いてもらう事で安心した生活を送る事が出来たかと思う。	美川地区の住民の皆様との交流もある事は、会議の中でも聞いておりよく取り組んでおられると思います。職員さんと入所者さんの言葉のやり取りにも優しい空気にあふれていると感じます。コロナ禍の中、大変なご苦労があった事と思います。入所者様や職員の皆様、これからも健康で安らかな日々を送られますように願っています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の方の生活の場ですが、少しの声掛けと見守りがある事で、ご自分の事が出来る方がほとんどです。1日でも長くその生活が続けて頂ける様お力になればと思います。今後は、地域ぐるみで顔馴染みとなれるよう少しずつ交流の機会を設けていきたいです。